

報道各位

イベント開催のお知らせ

KCIC アートマネジメントラボ 2016 「未来へののりしろづくり」7月～12月開講！（全6講座）

Session 1：スポーツ × アート

宇野 常寛

（評論家 / 批評誌「PLANETS」編集長）

「これからの地域とスポーツ文化～2020年へのブループリント～」

2016年7月23日（土）14:00～16:00

“想像力を広げる6つの学びの場” KCIC アートマネジメントラボが今年も開講します！

かごしま文化情報センターでは、2015年度に引き続き、地域における新しいアートマネジメントのあり方を模索する「KCIC アートマネジメントラボ」を開催いたします。芸術・文化と社会とのつながりを考え、社会の持つ創造力の向上を支援する“アートマネジメント”。2016年度は、「未来へののりしろづくり」と題し、「〇〇×アート」を全体テーマとして、社会を構成する多くのテーマの中から6つ（スポーツ、観光、企業、建築、防災、政策）を選び芸術・文化と掛け合わせて、地方都市・鹿児島におけるアートマネジメントを模索します。

政治からサブカルチャーまで、
鋭い視点で現代を見つめ、軽やかに斬る、
人気の論客 宇野 常寛がセッション1を飾ります。

KCIC アートマネジメントラボの第1回目は、評論家の宇野 常寛氏をゲストに迎えて「スポーツ×アート」をテーマにお話しいただきます。

2020年に東京での開催が決まったオリンピック・パラリンピック。スポーツの祭典と呼ばれる一大イベントの過去を振り返ると都市再編の道具（ツール）として機能し、開催後も都市に遺産を残している側面があります。また同年、鹿児島では国体も行われ、これからやってくるスポーツの祭典をいかに未来への推進剤にしていくべきか。来るべき2020年に向けた東京オリンピック計画と日本の未来像についての提言を1冊にまとめて出版した*宇野 常寛氏とともに、芸術・文化の側面から東京、鹿児島、そして日本の未来を考える場にしたいと思います。

* PLANETS VOL.9 東京2020 オルタナティブ・オリンピック・プロジェクト（発行：第二次惑星開発委員会）



宇野 常寛：1978年生。著書に『ゼロ年代の想像力』（早川書房）、『リトル・ピープルの時代』（幻冬舎）、『日本文化の論点』（筑摩書房）。共著に濱野智史との対談『希望論』（NHK出版）、石破茂との対談『こんな日本をつくりたい』（太田出版）。編著に『静かなる革命へのブループリント：この国の未来をつくる7つの対話』（河出書房新社）など。京都精華大学非常勤講師、立教大学兼任講師のほか、J-WAVE「THE HANGOUT」月曜ナビゲーター、日本テレビ「スッキリ!!」コメンテーターも務める。

そのほか、観光、企業、建築、防災、政策—

各界の実践者を招き、異なるジャンルとアートを掛け合わせて考える、
アートマネジメントシリーズ。

KCIC アートマネジメントラボ 2016 では、7月の宇野 常寛氏に引きつづき 12月まで、計6回のセッションを行います。一見、アートとは交わることのないようなスポーツ、防災といった分野でも、芸術・文化が取り入れられていることをお聞きしたいと思います。

社会に多様性や創造性をもたらす可能性を多くはらんだ“アート”とそれらを掛け合わせることで、社会に寛容さをもたらす学びの場としたい—。KCIC アートマネジメント 2016 ではそのように考えています。

創造性溢れる地域の未来像を、さまざまな角度から考察する KCIC アートマネジメントラボ 2016 をぜひ貴媒体にてご紹介いただけますようお願い申し上げます。

2015 年度 KCIC アートマネジメントラボの様子



◎参加者アンケートより

- ・「今まではイベントの参加のみでしたが、企画する側からの話がとても興味深く聞けて勉強になりました。」
(セッション1 「混浴トーク～アートと社会の蜜な関わり～」講師：山出淳也 (NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事 / アーティスト)
- ・「今のわたしがさっそく実践できそうな内容もあってうれしかった。どのように整理していいか悩んでいた、迷っていたことが少し解決できました」
(セッション7 「価値を伝えるプロジェクト記録術」講師：橋本 誠 (アートプロデューサー / Nomad Production)
- ・「マネジメントについては、アートだけでなく、様々な方面で同じことが言えると感じました。」
(セッション8 「成果報告会～やわらかい社会のために～」講師：藤 浩志 (美術家 / 十和田市現代美術館館長*) *2015年当時

開催概要

KCIC アートマネジメントラボ セッション1 スポーツ × アート

これからの地域とスポーツ文化 ～2020年へのブループリント～

ゲスト：宇野 常寛 (評論家 / 批評誌「PLANETS」編集長)

1. 日 時：2016年7月23日(土) 14:00～16:00
2. 参加費：無料
3. 定 員：50名(要予約・先着順)
4. 会 場：市民アートギャラリー (鹿児島市易居町1-2 鹿児島市役所みなと大通り別館1F)
5. 申込・問合せ先：

かごしま文化情報センター (KCIC) TEL：099-248-8121 MAIL：information@kcic.jp

鹿児島市易居町1-2 鹿児島市役所みなと大通り別館1F (開所時間：10:00～18:00 ※日・水曜休所)

来所、電話、またはメールにて、「KCIC アートマネジメントラボ Session1 宇野 常寛」と、
必要事項(お名前、年齢、電話番号、メールアドレス)をお伝えください。

KCIC アートマネジメントラボ セッション2～6 ゲスト一覧

◎セッション2 観光×アート「湯あがりトーク・ビジョン 2030 ～アートは観光にとっておいしい蜜?～」

ゲスト：山出 淳也 (NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事/アーティスト)

日時：2016年8月6日(土) 14:00～16:00

定員：30名 (要予約・先着順)



ゲストプロフィール

1970年大分生まれ。アーティストとして参加した主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北市立美術館(2000～01)、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館(2000～01)など多数。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」総合プロデューサー(2009、2012、2015)、国東半島芸術祭総合ディレクター(2014)、おおいとイレンナーレ総合ディレクター(2015)、平成20年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)、文化庁第14期文化政策部会文化審議会委員

◎セッション3 企業×アート「創造経済への転換」

ゲスト：加藤 種男 (公益社団法人企業メセナ協議会専務理事)

日時：2016年9月6日(火) 18:30～20:30

定員：30名 (要予約・先着順)



ゲストプロフィール

工場企業、自治体による地域創造の応援団として、おおさか創造千島財団理事、沖縄県文化振興会、八戸市「はっち」、「さいたまトリエンナーレ2016」、新潟市「水と土の芸術祭」などのアドバイザーなどを務める。1990年～2013年、アサヒ・アート・フェスティバルをはじめアサヒビールの企業メセナ活動を中心に社会創造を担当。2012年から現職。また、2004年～2010年、横浜市芸術文化振興財団専務理事、大仏次郎記念館館長、YCC館長などを歴任し、「文化芸術創造都市横浜」を推進。主な現職として、アートNPOリンク理事、埼玉県芸術文化財団評議員、アーツカウンシル東京カOUNシル・ボード議長など。2008年芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

◎セッション4 建築×アート (アートマネジメントラボ・ワークショップ)「モノ・セレモニーズ」

ゲスト：会田 大也 (ミュージアムエドゥケーター)

辻 琢磨 (建築家 /403architecture[dajiba])

アーティストが考えていることを同じ目線で体感するプログラム。作家・作品と鑑賞者の良好な関係を模索するミュージアムエドゥケーターと環境や文脈を読み解きながら空間を創造する建築家が協働して考案したワークショップを通して、アーティストの思考を参加者に触れてもらいます。

日本経団連などとも連携し、実践的なプロジェクトを経験させることで、社会的イノベーションを先導するリーダーの養成を目指す東京大学大学院のGCLプログラムリーダーの特任教授であり、同時に伊勢丹のキッズプログラム「ココイク」を推進し、新しい概念で教育に取り組む会田 大也と、解体から生じた廃材を建築資材として転用する「マテリアルの流動」をテーマに設計活動(403architecture[dajiba])を行い、2016年にはヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展にも参加した若手の建築家 辻 琢磨によるワークショップです。

日程：プロジェクト説明会 9/22(木・祝) 14:00～16:00

ワークショップ 11/23(水・祝)～27(日)

定員：プロジェクト説明会 30名 (要予約・先着順) ※定員になり次第、締め切り。

ワークショップ 未定

※ワークショップの内容、時間、定員などは決まり次第、KCICのウェブサイト、facebook、Twitterなどにてお知らせ致します。



ゲストプロフィール

会田 大也

1976年東京生まれ。2000年東京造形大学造形学部デザイン学科造形計画専攻卒業。2003年情報科学芸術大学院大学[IAMAS]修了。2003年開館当初より11年間、山口情報芸術センターの教育普及担当として、メディアリテラシー教育と美術教育の領域を横断する形で、オリジナルのワークショップや教育コンテンツの開発と実施を担当する。2014年より東京大学大学院ソーシャルICTグローバル・クリエイティブ・リーダー[GCL]育成プログラム特任助教。



辻 琢磨

1986年静岡県生まれ。2008年横浜国立大学建設学科建築学コース卒業。2010年横浜国立大学大学院建築都市スクールY-GSA修了。2010年Urban Nouveau*勤務。2011年メディアプロジェクト・アンテナ企画運営。2011年403architecture[dajiba]設立。現在、滋賀県立大学、大阪市立大学非常勤講師。2014年「富塚の天井」にて第30回吉岡賞受賞。

◎ セッション5 防災×アート「モシモをイツモにカエル、アーツ」 ゲスト：永田 宏和 (NPO 法人 プラス・アーツ 理事長)

日時：2016年12月2日(火) 18:30~20:30

定員：30名 (要予約・先着順)



ゲストプロフィール：

NPO 法人プラス・アーツ理事長。1993年大阪大学大学院修了。2005年阪神・淡路大震災10周年事業で家族が楽しみながら防災を学ぶプログラム「イザ！カエルキャラバン！」を開発。2006年NPO 法人プラス・アーツ設立。現在、首都圏、関西圏など全国各地及び、インドネシア、タイ、フィリピン、中米、南米など海外での防災教育普及に積極的に取り組む。東京ガス、東京メトロ、三井不動産グループ、無印良品、NHKなど企業・メディアの防災アドバイザーも数多く務めている。

NHK・Eテレ「東北発☆未来塾」TBS「情熱大陸」、日本テレビ「世界一受けたい授業」出演。

◎ セッション6 政策×アート「これからのアートマネジメント～2020年、その先に向けて～」 ゲスト：大澤 寅雄 (ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室)

日時：2016年12月13日(火) 18:30~20:30

定員：30名 (要予約・先着順)



ゲストプロフィール：

1970年生まれ。(株)ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員、九州大学ソーシャルアートラボ・アドバイザー、NPO 法人STスポット横浜監事。慶應義塾大学卒業後、劇場コンサルタントとして公共ホール・劇場の管理運営計画や開館準備業務に携わる。2003年文化庁新進芸術家海外留学制度により、アメリカ・シアトル近郊で劇場運営の研修を行う。帰国後、NPO 法人STスポット横浜の理事および事務局長、東京大学文化資源学公開講座「市民社会再生」運営委員を経て現職。

■内容に関する広報のお問合せ、また取材につきましては、電話またはメールでご連絡をお願いします。

かごしま文化情報センター (KCIC)

TEL：099-248-8121 MAIL：information@kcic.jp

鹿児島市易居町1-2 鹿児島市役所みなと大通り別館1F (開所時間：10:00~18:00 ※日・水曜休所)

主催：文化薫る地域の魅力づくり実行委員会、鹿児島市

助成：一般財団法人地域創造

企画制作：かごしま文化情報センター(KCIC)アートディビジョン